公益財団法人大阪産業局
令和５年度　事業報告

令和５年度　事 業 報 告

概　要

・　大阪経済は、コロナ禍を乗り越え改善しつつある。

　令和５年度は、30 年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られた一方で、原油・原材料価格の高騰の長期化や、急激な為替変動、人手不足など、様々な課題への対応を求められた一年であった。

・　事業の実施にあたっては、日々変化する状況を見極めながら、これらの様々な経営上の課題に直面する中小企業や新たなビジネスに挑戦する創業希望者等に対し必要な支援を届けるべく、これまで培ってきたノウハウやネットワーク等の様々な資源を活かし、工夫を凝らしながら事業運営に取り組んできた。

・　大阪府・大阪市からの交付金事業においては、万博に向けた新たな事業の予算化や、事業予算の更なる交付金化が進められるなか、支援機関として産業局のリソースを活用しながら弾力的かつ効果的に事業を遂行できた。

　加えて、国や府等の補助金の活用や業務受託を積極的に行い、物価高騰により打撃を受けた事業者の支援や、大阪のさらなる飛躍に向けた新たな価値の創造に取り組んだ。

・　また、経済活性化の起爆剤であり世界に大阪の魅力を発信する絶好の機会である 2025 年大阪・関西万博に向け、大阪ヘルスケアパビリオンの「展示・出展ゾーン」に出展する優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援するとともに、大阪パビリオンでその象徴的な成果、活躍を効果的に発信できるよう企画調整を行った。

・　これらの取り組みにより、多くの中小企業者に的確に支援を届けることができたことで、大きな成果を上げることができた。

・　収益事業においては、新型コロナウイルス感染症の５類感染症への移行に伴い、ようやく民間の事業活動も前向きに動き出したこともあり、コロナ前の水準に向け戻りつつある。

・　設立当初から継続して取り組んでいる広報強化にあたっては、財団ウェブサイト上に新たに広報ページを追加したほか、財団のラジオ番組の放送を開始するなど、新たな広報ツールを用いた活動を行った。

・　今後とも大阪産業の持続的な成長の実現に向けて、大阪の中小企業支援施策・事業の執行を担う中核的な機関であることを十分に認識し、様々な影響を受ける中小企業者に寄り添い、多様化する経営上の課題や支援ニーズに応じた総合的・複合的な支援策の推進、事業実施体制の構築などに取り組んでいく。

事 業 報 告 項 目

公益目的事業１

Ⅰ　事業活動の基盤支援 ＿＿3
１　コンサルティング事業 ・・・

公益目的事業１

Ⅰ　事業活動の基盤支援

１　コンサルティング事業

⑴　大阪産業創造館　経営相談室

創業促進や中小企業の経営革新を図るため、専任のコンサルティングスタッフのほか、弁護士、税理士等の専門家とも提携し、メール・電話・対面での経営相談や専門家派遣を行った。

【メール・電話・面談　合計：6,532 件】

⑵　よろず支援拠点事業

中小企業庁から委託を受け府内中小企業・小規模企業者の売上拡大や経営改善等の経営課題への取組みを支援するための無料経営相談所として運営。

チーフ・コーディネーター1 名及びコーディネーター23 名を配置し、他の支援機関・専門家等とネットワークを構築しつつ、経営相談事業を核として次の業務を実施した。

①　相談対応

認知度の向上、相談体制の充実を図り、以下の実績となった。

【名寄せ後の全相談企業数：2,423 者／相談実績件数：5,256 件
／課題解決件数：1,032 件】

②　その他支援業務

産業局のアンバサダーやキャラバン隊を通じて自治体、公的支援機関、商工会・商工会議所、金融機関、民間企業などと積極的に連携を図り、事業者の支援や共催セミナー、出張相談会などを実施した。

相談業務との相乗効果を図るため「よろず塾」等を実施した。

③　大阪府受動喫煙防止対策相談窓口事業

大阪府から委託を受けて、府内飲食店が整備する喫煙専用室等にかかる技術的相談や、国が補助する「受動喫煙防止対策助成金」、大阪府が補助する「大阪府受動喫煙防止対策補助金」の活用促進のための相談窓口を設置し、条例の規定に関する問い合わせや喫煙室の施設整備に関する相談、補助金申請に関する相談に対し助言・指導を行った。

【相談件数：756 件／補助金申請件数：27 件】

２　競争力強化支援事業

(1)　経営力強化支援事業

中小企業等に対し、セミナーを通じて経営の基礎知識や最新情報等を習得する機会を提供するとともに、少人数でのゼミ、ワークショップなどを開催し、組織マネジメントや財務体質の強化、人事、労務の課題解決などの様々な経営課題の解決を支援した。

①　セミナーの開催

【開催数：91 回／受講者数：3,638 名】

○　セミナー、はじめての〇〇セミナー

財務や法律などの経営の基礎的知識や、その時々の旬の情報、注目市場の動向などを提供するセミナーを開催した。

○　ビジスク online＋（有料動画配信）

○　その他経営力強化セミナー等

その他、中小企業の課題に応じ、事業承継、海外ビジネス、デジタル化などをテーマとしてセミナーやトークライブ等を開催した。

②　連続講座・ワークショップ等の開催

【開催数：8 回／受講者数：114 名】

○　ワークショップ・経営ゼミ等

中小企業の経営課題に合ったさまざまなテーマで開催する少人数制の実践的な研修を開催した。

○　中期経営計画策定サポートプログラム

○　中小企業の BCP（事業継続計画）策定サポートプログラム

自然災害や人為災害などが発生した際に事業を継続するための具体的な行動計画である「事業継続計画書（BCP）」等の策定をサポートした。

③　なにわあきんど塾

若手経営者・後継者の育成プログラム。経営の基礎的知識とともに、先を見通す視野、戦略を立てる知恵、そして実行するリーダーシップを、バランス良く体得できる一年間のプログラムを開講した。

○　第 38 期生　【受講者数：31 名】

⑵　中小企業 DX 推進支援事業

専門の窓口の設置や大阪府 DX 推進パートナーズとの連携を図り、相談業務や専門家派遣による伴走支援、セミナー、ワークショップなどの人材育成プログラムを活用した情報提供を通じて、DX 導入への支援へつなげるとともに、モデル事例の情報発信を行っていくことで、DX 推進の好循環を創出した。

【DX 相談件数：1,398 件／経営力強化件数：188 件／
業務改革等具体的なアクションに着手した企業：61 社／IoT 診断件数：24 件】

⑶　販路開拓支援事業

多様なテーマ設定で商談会やビジネス・イベントなどを開催し、販路拡大や事業提携を促進した。

①　セミナー、ワークショップ等の開催

売れる商品・サービスをつくるには、アイデア出しから、企画・開発、テストマーケティング、ブランディング、プロモーションとさまざまなポイントがあり、商品開発、販促、情報発信などのテーマを中心に各種セミナーや講座を開催した。

○　マーケティングセミナー　【開催数：16 回／受講者数：1,023 名】

○　実践ワークショップ　【開催数：2 回／受講者数：23 名】

②　O-TEX2025 大阪ビジネスチャンス獲得プロジェクト

（頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業）

高いポテンシャルを秘めた製品やサービスをもつ大阪の中小企業を発掘し、展示商談会等のマーケティング活動等のハンズオン支援や、各種出展機会の提供等による一気通貫した支援を実施することにより、大阪に世界の目が集まる万博を契機としたさまざまなビジネスチャンスの獲得に向け、中小企業の経営力強化を図った。

また、より多くの前向きな中小企業が万博の活力を取り込み、その強みを世界にアピールできるよう、成果事例の横展開に取り組んだ。

○　大規模展示会活用プログラム　【支援企業数：18 社】

○　各種講座・イベント　【開催数：5 回／受講者数：213 名】

○　海外ヒアリング調査　【参加社数：6 社】

③　大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業

大阪市、ジェトロ大阪と連携し、大阪産業局のノウハウやネットワークを活かして魅力ある大阪の中小企業を海外に発信するためのプロモーションツールを制作し、ジェトロ大阪から万博参加国へのアプローチ、大阪市による海外機関（領事館等）の視察・交流などの様々な機会をとらえ、海外向けの発信に積極的に活用した。

④　大阪プロダクトエコシステム創出事業（大阪商品計画・プロモーション支援）

中小事業者等の消費財の商品開発支援、EC の売上強化や販路拡大の講座や小売店を活用したプロモーションを、実施した（令和 4～5 年度の 2 か年事業）。令和 5 年度は、20 社に対して、個別指導や研修、心斎橋の店舗でのプロモーションなどを実施した。

⑤　展示会・商談会の開催

ア　販路拡大ターゲットマッチング

中小企業とのマッチング可能性が特に高い販路を持つバイヤーが商材を募集するビジネスマッチングイベントを開催した。

【開催数：8 回／参加社数：143 社】

イ　売上拡大・販路開拓を狙うテーマ別展示商談会

パッケージ、販促など、マーケティング手法や注目市場についてテーマを設定し、

関連する商品・サービスを持つ企業が出展するマッチングイベントを開催した。
【開催数：5 回／参加者数：3,513 名】

⑥　中小企業における産業デザイン振興に関する事業

府内中小企業や起業家のブランディングや商品開発等のデザインに関するお悩みに対し、デザイン専門家がヒアリングを行い、アドバイスから、具体的なデザイン活用の解決策を提案した。また、デザイン思考やデザイン経営に欠かすことができない知識やノウハウなどを学ぶ、セミナーやワークショップ等を実施した。

○デザイン相談　D-challenge

【企業支援社数：176 社／相談件数：262 件】

大阪府内の中小企業や起業予定の皆様のデザインに関するお悩みに対して、3 名のデザイン専門家が顧客視点のアドバイスを実施した。

⑷事業承継支援強化事業

中小企業経営者の高齢化が進む中、後継者未定の中小企業が多く、早期・計画的な事業承継に対する支援ニーズの掘り起こし、ニーズに対するきめ細やかな支援事業を行うことで、円滑な世代交代及び後継者による事業活動の活性化を図った。

また、事業承継支援のモデルとなる先進的な取組み事例として、ベンチャー型事業承継プロジェクトを実施した。

①　事業承継相談

大阪府事業承継ネットワークの構成員として、よろず支援拠点等とも連携しながら、事業承継に関する相談対応を行った。

【事業承継相談件数：431 件】

②　ベンチャー型事業承継プロジェクト

親族が事業を営む 34 歳未満のアトツギを対象に、家業の経営資源を活用した新規事業を考えるアイデアソンなどを開催した。

また、近畿管内におけるベンチャー型事業承継の普及・啓発のための情報発信やイベントを開催した。

③　インターネット《事業引継ぎ支援》プロジェクト

中小企業・小規模事業者の高齢化・後継者不在が進む中、事業承継や M&A の可能性を拡大するため、民間 M&A プラットフォーム事業者（プラットフォーマー）への登録を促進し、同時に M&A 支援ができる人材を育成することで、M&A マッチングによる中小企業・小規模事業者の新たな事業展開を創出した。

【M&A 支援人材育成研修参加者：805 名／民間 M&A プラットフォーム申込者：61 者】

⑸　広報事業

産業局が取り組む事業をウェブサイトや財団ラジオ番組、情報紙、メールマガジン等の様々な広報媒体を活用して情報発信した。

①　財団広報

産業局が行う支援サービスの利用促進、認知度向上を目指し、積極的・戦略的な PR 活

動を行った。

○　マスコミ（TV、新聞、雑誌、Web 等）への情報提供【掲載件数：202 件】

② インターナルコミュニケーションの醸成

財団内のインターナルコミュニケーションの醸成を図るため、組織の目標や価値を共有、部署間の連携強化に努めた。

○新しい職員や各事業部の仕事内容などを紹介する社内報の発行を開始。
(7 月･12 月・3 月発行)

○令和 5 年 10 月から、ラジオ番組「Zai ラジ！ビジネスの舞台裏」の放送をスタート。
(ウメダ FM789、毎週水曜日放送)

③ 広報誌等の発行

大阪で活躍する元気でパワフルな経営者にフォーカスした記事のほか、ビジネスに役立つイベント・セミナー情報などを紹介することで、大阪の中小企業や創業企業者の支援を行った。

○　Bplatz press の発行（隔月発行）：18 万部／年

○　Moov Press の発行（年 3 回）：2.1 万部／年

④ WEB サイトの運営

財団ＷＥＢサイト内に広報に関するページを新たに制作するとともに、ユーザーガイドやメディアガイドを掲載。

より多くのステークホルダーに財団を認知してもらうため、PR の強化に努めた。

⑹　大阪経済に関する調査事業

大阪産業創造館のユーザーをメインとする経営者の方々に加え、大阪市経済戦略局のモニターに対して、景気動向の実感や、時宜に応じた調査テーマなどを共同で実施する「ネットモニター調査」を毎月実施した。また、大阪市経済の動向について、各種の調査分析方法を用いて、四半期毎に経済動向を調査分析した。この結果についてホームページなどによる情報提供を行った。

３　地域産業振興事業

(1)ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）の運営に関する事業

事業統括者、海外取引経験者等を配置し、常設展示場の管理運営、北館インキュベーション施設管理運営、相談対応、情報受発信及びこれらに関する全体マネジメントを実施した。

①　MOBIO 情報発信等

常設展示場の管理運営、情報受発信等を行った。

【来場者数：20,034 人／ウェブサイトアクセス数：852,902PV
／機関紙 MoovPress 発行部数：3 回発行・21,000 部】

②　ものづくり企業の交流促進に関する事業

ものづくり中小企業に対する情報発信、施策紹介、交流機会提供等のため、セミナーや説明会等と交流会からなる「MOBIO-cafe」(少人数)と「MOBIO-Forum」(多人数)を開催した。

【平均参加者満足度：96.0%／開催数：26 回／参加者数：520 名(リアル開催のみ)】

③　EG おおさか

大阪府と共同で、「産学公民金」が連携した「EG おおさか推進ネットワーク」の運営（定例交流会の開催）、地域経済コンシェルジュ養成研修を実施した。

【参加者満足度：100%】

④　大阪製ブランドの募集・推薦・PR に関する事業

大阪製ブランド認定候補製品の募集、発掘、大阪府への推薦を行うとともに、冊子・ウェブサイト、SNS 等を通じた PR を実施した。

【大阪府への推薦：16 製品】

⑤　消費財の販路開拓支援事業

大阪製ブランド認定製品、指定伝統工芸品等の販路開拓を支援するため販売店舗開拓、催事・展示会出展や発信機会の創出・提供に努めた。

【大阪製ブランド認定により販売先が増加した企業の割合：68.2%】

⑥　産学連携マッチング

中小企業の産学連携を支援するため、大学・高専等のシェアオフィスを設置・管理するとともに、大学・高専と中小企業等との連携に関する相談やマッチング支援を実施した。令和 5 年度は、MOBIO 産学連携オフィスのネットワークに参画する大学・高専の拡大に努め、新たに 4 大学が参画に至った。

【利用者満足度：95.5%／産学連携マッチング支援件数：29 件】

⑦　中小企業取引振興事業

ア　取引あっせん事業

発注企業の開拓促進と情報収集に努め、受発注企業双方に情報を提供することにより、取引あっせんを行った。

【発注申出件数：499 件／企業紹介件数：511 件／取引成立件数：73 件】

イ　ものづくり B2B ネットワーク事業

大阪府と共同で「ものづくり B2B ネットワーク事務局」を設置し、金融機関とのネットワークを通じて、関係企業に各種の発注・取引情報の提供を行った。

【発注申出件数：214 件／企業紹介件数：1,272 件／取引成立件数：21 件】

ウ　ビジネスマッチングサポート事業

技術と経験豊富な大手企業 OB がコーディネーターとして、ものづくり中小企業の持つ潜在的な可能性を見出し、大手企業との技術提携・共同開発などへと繋がるビジネスマッチングを推進した。

【発注申出件数：684 件／企業紹介件数：903 件／取引成立件数：138 件】

エ　商談会等の開催

○　大規模企業商談会事業

大手企業と府内中小企業との間で募集技術ニーズに対する技術提案型等の商談会を開催した。

技術展示会 in ジェイテクト国分工場【出展企業数：23 社】

○　広域個別商談会事業

府内外の大手・中堅企業と府内中小企業の出会いの場として、近畿・四国ブロック合同による広域個別商談会、六都府県オンライン商談会等を開催した。

オ　下請取引適正化事業

下請取引により生じたトラブル等、府内中小企業の取引上のさまざまな悩みに関する相談に対し、専門相談員がきめ細かく対応した。（下請かけこみ寺）

大阪府内の事業者等を対象に、親事業者、下請事業者の双方が、下請法等への理解を深め、両者間に対等なビジネスパートナーシップが築かれるよう講習会を実施した。

カ　経営基盤・技術向上等講習会

府内のものづくり中小企業の製造現場の技術力向上や営業力向上を図るため、大阪府立東大阪高等職業技術専門校と連携して講義・演習に事例を交えながらの実践形式で機械 CAD の基本機能と加工技術を学ぶ講習会を開催した。

「三次元 CAD 基礎コース」 全 2 回　受講者数：19 名

「作業改善基礎コース」　　全 2 回　受講者数：20 名

「加工技術基礎コース」（旋盤編、フライス編）　各 2 回　受講者数：各 12 名

⑧　知的財産活動支援事業

知財サポートチームによる相談支援をはじめ、セミナーや特許活用講座の開催、展示会出展等による知財マッチング等を通じ、知的財産戦略を実践し競争力を強化する企業を支援した。

【平均受講者満足度：97.5%／サポートチーム支援件数：40 件】

⑵　ものづくり企業向け講座・セミナーの開催

①　現場力向上セミナー

中小製造業の現場力向上を目的に、毎月違うテーマでセミナーを開催した。

【開催数：16 回／受講者数：845 名】

② 事業推進セミナー

中小製造業の経営者や経営幹部、部門の管理責任者を対象に、製造現場で役立つテーマを取り上げてセミナーを開催した。

【開催数：9 回／受講者数：436 名（リアル＋オンライン）】

③ 大阪公立大学「オープンラボラトリー」

大阪公立大学の最新研究成果を発表するセミナーを実施した。

【開催数：1 回／参加者数：19 名】

⑶ ものづくり企業向け展示会・商談会の開催

独自の技術、製品、素材などを持つ製造業が出展し、技術提携先探しや新たな販路パートナーと出会うマッチングイベント（技術テーマ別商談会）を開催した。

【開催数：12 回／出展社数：568 社／参加者数：10,636 名】

⑷ ビジネスチャンス倍増プロジェクト

企業情報などに精通し幅広い人脈を持つ大企業 OB をマッチングナビゲーターとして活用し、有望な技術を有する大阪市内中小企業と大手企業や他の中小企業とのマッチングを図り、新たなビジネスの成約や事業提携を目指し、活発な企業取引促進のサポートを実施した。

【新規訪問企業数：62 社（累計：5,882 社）／マッチング成果件数：210 件】

⑸ 大阪産業局商工会議所・商工会等連携地域キャラバン隊事業

商工会議所・商工会、大阪府商工会連合会等と連携し、伴走型個社支援（相談事業）を通じて課題解決に導いた。本事業の推進にあたり、商工会議所等に補助金を交付した。

【実施拠点数：20 機関／個社支援：237 社】

⑹ 大阪産業局アンバサダー事業

府内 7 つの信用金庫及び日本政策金融公庫の支店長等に産業局の広報大使（アンバサダー）に就任いただき、取引先企業への産業局の施策 PR とともに、取引先企業が持つ課題を産業局の各支援事業に繋ぎ、連携した解決を図った。

また、アンバサダーが取引先企業へのドアノックツールとして活用するため、タイムリーな補助金情報や販路開拓に役立つ施策、産業局の事業案内などを掲載した「中小企業お役立ち情報（通称：アンバサダー通信）」を発行した。

【アンバサダー就任者数：174 名（令和 6 年 4 月 1 日現在）】

⑺ 新事業展開テイクオフ支援事業

新型コロナウイルス感染症、原油価格、物価高騰等などの影響によるコスト増に伴い、経営が厳しい状況に置かれている事業者が取り組む新規事業を、支援機関と連携した伴走支援を通じて実現に導いた。さらに補助金制度を活用することで、早期の収益化を図った。また、伴走支援過程と成果を見える化、発信することで新たな新規事業へのチャレンジャーを増やす好循環を生み出した。

【1 期　事業者選定　伴走支援：100 者／補助金：314 者】

【2 期　事業者選定　補助金：321 者】

４　人材戦略支援事業

⑴　OSAKA しごとフィールド中小企業人材支援センター
中核人材雇用戦略デスク運営事業

大阪府内の中小企業が販路開拓や海外展開、事業承継の取組みなど、自社の新たな成長に向けて必要な人材像を明確にし、攻めの経営を行うためのプロフェッショナル人材の活用支援を行った。

【採用相談：587 件／採用実績：320 件】

⑵　大阪外国人材マッチングプラットフォーム事業

府内中小企業の人材不足をはじめとした経営課題の解決に向け、外国人材と中小企業のマッチングを促進するためのプラットフォームを構築。大阪産業局を中心とした外国人材の受け入れに関する支援体制を整備することで、府内中小企業の更なる成長につなげた。

【相談対応件数：383 件／課題解決件数：122 件／事業参加企業数：1,609 社】

⑶　中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業

人材採用に課題がある中小企業に経験豊富なアドバイザーが課題をヒアリングし、人材ニーズや採用手段の整理などアドバイスを行い、公的機関から民間企業まで多種多様な採用チャネルの中から、経営課題の解決に向けた最適な採用方法をご紹介することで、相談から採用実務までワンストップのサポートを行った。

【採用相談件数：715 件／採用実績件数：363 件】

⑷　地域創生人材流動化促進事業

イノベーション創出を牽引する人材の育成、多様で柔軟な働き方の普及・定着、成長途上段階の中小・ベンチャー企業の成長加速に向けて、今後の成長が期待できる中小・ベンチャー企業に対し、大企業等に所属する人材の派遣・研修や転職等の促進を行った。

【経営力強化件数：16 件】

⑸　地域中小企業人材確保支援等事業（中核人材確保支援能力向上事業）

成長・拡大を志向する中小企業等において、経営課題の見つめ直しを行い、その解決に必要な中核人材の確保を戦略的に進めていくことが必要である。そのため、地域の経営支援機関等が人材支援機関と連携し、経営支援から人材の発掘支援をシームレスに行うための人材確保の担い手の育成を行った。

【支援ネットワークへの参画機関数：26 機関／
参画機関の連携により求人像の明確化をした支援企業数：28 社／
うち、人材確保に至った企業数：7 社／育成する担い手の人数：17 人】

Ⅱ　次世代企業・産業の支援

１　創業支援事業

創業を志す人を対象に、事業計画や資金計画など創業に関する基礎的な知識の習得や課題の解決を図るゼミ等を実施するとともに、受講者同士の交流等による新たなビジネスネットワーク形成を支援した。

(1)　創業者向け講座・セミナーの開催等

①　創業者向けイベント

起業を志す方を対象に、ミニセミナーや、先輩起業家のトークセッション、専門家の個別面談や資金調達の相談など、起業準備に役立つ各種コーナーを一堂に集めたイベントを開催した。

【開催数：3 回／受講者数：631 名】

②　起業セミナー

ア　起業スタートアップセミナー

創業までの具体的なスケジュールをはじめ、良いスタートを切るために知っておきたい事柄と心構えについて事例を交えながら解説するセミナーを開催した。

【開催数：12 回／受講者数：902 名】

イ　起業準備セミナー

資金調達や事業計画など、起業準備中の方に知ってもらいたいさまざまなテーマを取り上げ、その知識やノウハウを紹介し、スムーズな立上げをサポートするセミナーを開催した。

【開催数：23 回／受講者数：977 名】

③　創業支援セミナー等

先輩起業家や業界関係者より起業に関わる情報提供等のセミナーを開催した。

【開催数：15 回／受講者数：384 名】

④　創業チャレンジゼミ

ビジネスプランのブラッシュアップ、事業の数値計画のシミュレーションなどのカリキュラムで、創業をバックアップする短期集中講座を開催した。

【開催数：3 回／受講者数：26 名】

⑤　融資が必要な人のための事業計画作成講座

日本政策金融公庫との連携により、資金調達のために必要な事業計画作成の基本をレクチャーするセミナーと、審査をする側の視点からの具体的なアドバイスにより、希望する金額を調達するための講座を開催した。

【開催数：2 回／受講者数：9 名】

⑥　飲食店開業シミュレーションプログラム「あきない虎の穴」

飲食業に特化し、ワークショップや実店舗でのインターンシップ、さらには大阪産業創造館 16 階におけるテイクアウト専門店の厨房を活用した模擬的な経営体験プログラムなどにより、現実的かつ差別化できる店舗づくりをサポートした。また、金融機関やサプライヤーとの連携により失敗のリスクを軽減できるプログラムを実施した。

【講座開催数：1 回／受講者数：11 名】

⑵　起業プログラム「立志庵」

創業希望者に対して 24 時間利用可能な起業支援スペースを低廉な料金で提供し、創業促進を図るため集中的にコンサルティングを実施した。

【令和 5 年度入居者数：9 名（累計利用者：674 名）】

⑶　創業者向け交流会の開催

受講者同士の新たなビジネスネットワークを形成する交流会を実施した。

【起業家スタ活交流会開催数：2 回／参加者数：40 名】

⑷　外国人起業促進支援窓口

「大阪市　外国人起業活動促進事業（スタートアップビザ）」を実施するため、大阪市での起業を希望する外国人の起業準備活動計画等の作成支援や、在留資格「特定活動」が認められた外国人起業家のサポートを行い、大阪市での外国人起業家の創出につなげた。

【相談・計画書アドバイス件数：42 件／問い合わせ件数：127 件】

⑸　ＩＡＧベンチャーサポート発表会

ベンチャー企業が、関西を代表する経営者などで組織された IAG（インキュベーション・エンジェル・グループ）のメンバーに対して、自社のビジネスプランのプレゼンテーションを行い、優秀な事業プランを選定。IAG メンバーが具体的な支援を実施した。

【開催数：2 回／応募ビジネスプラン：26 件／最終発表会参加社数：12 社／
IAG フォローアッププログラム支援企業数：2 社】

⑹　ビジネスプランコンテストの開催

①　ビジコン OSAKA

なにわあきんど塾同友会、一般社団法人大阪市産業経営協会、大阪市女性起業家情報交流協会と共催のビジネスプランコンテストを開催。ベンチャー部門とリノベーター部門で募集し、各部門での受賞者や各団体が 1 年間フォローをする優秀企業を決定した。

【開催数：1 回（リアル・ライブ配信）／最終発表者：8 名／参加者数：99 名】

② 大阪起業家グローイングアップ事業

地域や社会が抱える課題を独自のビジネス視点で的確に捉え、収益・雇用の持続的・安定的な成長を通じ、次代の大阪経済を支える意欲がある有望起業家をビジネスプランコンテスト等を通じて発掘し、大阪府による補助金の支給やビジネスプランから成長過程までの一貫したハンズオン（伴走型）支援を組み合わせることにより、オール大阪で起業家の着実な成長を支援した。

【マッチング成果件数（受賞後１年以内の達成）：8 件】

⑺ 女性起業家等支援ネットワーク構築事業（ＬＥＤ関西）

女性の起業を支援するため女性起業家等支援ネットワークを構築し、起業を志すあらゆる段階にいる女性や、事業成長に課題を抱える創業間もない女性起業家を確実にフォローできる体制により、既存の起業家支援施策への橋渡し等、女性のニーズに応じたきめ細やかな支援を実施した。

また、令和 5 年度は新たに、アンバサダー向けアクセラレーションプログラムの拡充やアンバサダー登壇集客セミナーの開催、だいしん連携イベント（6 回）を通じた女性起業家の機運醸成等に取り組んだ。

（※LED 関西…ladies' entrepreneur discussion 関西の略）

○キックオフイベント　【参加者数：138 名（リアル＋Web）】

○ビジネスプランコンテスト・LED 関西

エントリー数：385 件／セミファイナル：30 名、ファイナルプレゼン数：10 名

○DISCOVER MYSELF 関連セミナー・イベント

【開催数：12 回／参加者数：410 名（リアル＋Web）】

○女性起業家お仕事展　来場者：800 名

２　成長企業育成支援事業

(1)　グローバルイノベーション創出支援事業

「大阪イノベーションハブ（OIH）」を拠点に、国内外から人材・資金・情報を呼び込み、先端技術や情報等の交流・融合により新たな価値を次々と創造するエコシステムを構築し、イノベーションの創出や革新的なビジネスを展開するスタートアップの創出・成長発展を図るため、投資家からの資金調達や大企業との事業提携・協業の促進、短期間での事業成長などの各種支援事業を推進した。

また、スタートアップに挑戦しようとする未来の起業家人材や飛躍をめざすスタートアップに伴走しながら、それぞれのステージや課題・ニーズ等の固有の状況に応じて必要かつ適切な支援に取り組んだ。

【新たなプロジェクトの創出・推進支援件数：74 件／
支援先スタートアップ等における資金調達額：92 億 5,500 万円】

【OIH 主催・共催イベント　開催数：247 回／参加者数：12,583 名】

【スタートアップ等に対する個別サポート回数：304 回】

①　スタートアップの創出支援

ア　OIH Starters Pitch

シード・アーリー期のスタートアップのビジネスプランのブラッシュアップやピッチの練習、プレイヤー会員同士の接点創出・コミュニティ形成を目的とした「OIH Starters Pitch」を開催した。

【ピッチイベント開催数：9 回／参加者数：51 名】

イ　OIH グローバルアントレプレナープログラム in Australia!

世の中で求められるニーズを把握し、海外を意識したビジネス創出に挑戦するアントレプレナーシップマインドの醸成をめざし、「オーストラリア・メルボルン」においてワークショッププログラムを実施した。

【参加者数：9 名】

ウ　START LINE OSAKA

大学生等の若手人材を対象に、スタートアップや起業等への関心を高めるためのイベント開催やコミュニティ形成を通じて、スタートアップとして挑戦する起業家輩出のムーブメントづくりに取り組んだ。

【イベント開催数：4 回／参加者数：166 名】

エ　関西スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）

関西の産学官金が連携するプラットフォーム「KSAC」のもと、各大学の優れた技術シーズの実用化やアントレプレナーシップ人材の育成等、大学発スタートアップの連続的な創出に向けた各種プログラムを実施した。（当財団はプラットフォーム事務局を担当）

② スタートアップの成長加速の支援

スタートアップと事業会社・投資家との接点機会の創出をめざしたピッチイベントをはじめ、ビジネスモデルの練り直しや資金調達、大企業との事業提携等をサポートするアクセラレーションプログラムなど、スタートアップの成長加速の支援に向けた各種支援事業を推進した。

ア　ピッチイベント

資金調達や事業連携ニーズなどを持つスタートアップと事業会社・投資家との接点機会の創出に向けた各種ピッチイベントを実施した。

○　VC ミートアップ　【開催数：6 回／参加者数：205 名】

○　うめきたピッチ　【開催数：6 回／参加者数：228 名】

○　ミライノピッチ

【エントリー数　学生の部：13 名、一般の部：14 名／登壇者数：10 名】

イ　アクセラレーションプログラム

スタートアップにおける「起業前・後～上場や M&A 直前」等の各ステージに対応し、起業経験者等がメンタリングや個別伴走支援を行い、一定期間・集中的にビジネスモデルの練り直しや資金調達、販路開拓、大企業との事業提携などに取り組む「アクセラレーションプログラム」を実施した。

○　スタートアップ・イニシャルプログラム OSAKA

【対象　講義：33 者、個別伴走支援：12 者／メンタリング等支援：264 回】

○　OIH スタートアップアクセラレーションプログラム（OSAP）

【対象：全 12 社（第 15 期・第 16 期）／資金調達（融資含む）：合計 7.6 億円】

○　RISING！ スタートアップ発展支援プロジェクト

【対象：6 社／メンター：6 者／首都圏の支援者等とのネットワーク構築：6 回】

ウ　カーボンニュートラル等新技術ビジネス創出支援

カーボンニュートラル関連の新技術を活用した事業開発に携わる大学研究者やスタートアップ等を対象に、ビジネス化や社会実装をめざして専門人材による個別支援を行った。

また、カーボンニュートラル、ヘルスケア、Web3.0 等の分野のスタートアップ企業等を対象に、大阪・関西万博の民間パビリオン出展者との連携・協業に向けて、ビジネスプラン策定や連携提案の立案まで行うワークショップを実施した。

○　Growing Tech サポートプログラム～個別支援　【支援企業数：10 社】

○　共創事業ワークショップ　【実施回数：4 回／参加者数：33 名】

エ　国際イノベーション会議　Hack Osaka 2023

スタートアップと来場者（大企業や VC・CVC 等）とのネットワーク構築や国内外への情報発信に向けて、国内外スタートアップのピッチイベントや展示・商談会、トークセッションなどによる国際イノベーション会議を開催した。

○令和 5 年 12 月 18 日・19 日開催　参加者：713 名

オ　ディープテック分野のスタートアップ支援スキーム構築事業

大阪が強みを有するライフサイエンス分野を中心に、大学等の研究シーズやスタートアップの掘り起こし・ネットワークの形成等のため、ディープテック分野のスタートアップ支援スキームの具体化を進めた。

【支援件数：100 件／面談件数：127 回】

カ　関西スタートアップインキュベーションプログラム「起動」

関西圏を中心とした創業前から創業後 5 年以内のスタートアップを対象に、創業期に課題となる活動資金・最大1,000 万円の提供、全国トップクラスのメンターによるメンタリング、伴走コーディネーターによるハンズオン支援等を通じ、事業構築支援を実施した。

○　起動（1 期）

【支援企業：5 社／パートナー企業：9 社／協業件数：3 件】

○　起動（2 期、支援継続中）

【支援企業：5 社／パートナー企業：9 社】

⑵　大阪スタートアップ・エコシステム事業

イノベーションの継続的な創出に向けて多様な人材や情報、技術、資金等を呼び込む環境の整備・向上を図るため、大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム事務局として、大阪のエコシステムと国内外の公的支援機関や企業、投資家、研究機関等のネットワークを構築・強化するとともに、「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」として国や京都府・京都市、兵庫県・神戸市と連携を図り、エコシステムの発展やスタートアップの支援強化に努めた。

また、大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムのウェブサイトを再構築し、イベントカレンダーにコンソーシアム会員や支援機関によるイベント・支援プログラム情報を幅広く掲載するなど、コンテンツの充実を図り、情報発信の強化に取り組むほか、コンソーシアムメンバーの相互理解や関係性を深め、課題や情報等の共有を図るため、各種勉強会や分科会を実施した。

【スタートアップ創出件数：465 社／5 億円以上調達のスタートアップ件数：92 社
コンソーシアム主催勉強会の開催：8 回】

⑶　新産業創造支援事業

①　大阪トップランナー育成事業

新たな価値や市場の創出が期待できるプロジェクトに対して、コーディネーターが伴走しながら、事業段階・事業課題に応じてオーダーメイド型のきめ細かな支援を一気通貫で実施した。さらに、新規事業の創出に向けて、事業開発に必要な知識や視点を学ぶセミナー、シンポジウムによる情報提供やワークショップを実施した。

【支援企業における売上増加率：98%（R3～R5 認定対象）】

②　OKJP プロジェクト業務

健康寿命の延伸に資する産業創出に向けて、「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム」（略称：OKJP、平成 27 年 7 月設置）を中心に、新たなヘルスケアサービスの

発掘及びアイデア創出支援などを目的とした「健康産業有望プラン発掘コンテスト」の開催、ファイナリストへの伴走支援などを実施した。

⑷　おおさかナレッジ･フロンティアプロジェクト運営事業

大学・研究機関等の研究成果や革新的な技術を活かして新事業の創出を図るため、ハンズオン支援、および事業化プロジェクトの企画立案や運営サポートを行った。

【研究開発型ベンチャー企業等へのハンズオン支援件数：69 件】

⑸　万博共創ビジネス推進事業

2025 年大阪・関西万博への取り組みをさらに推進するため、大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」企画・運営業務として、課題解決を図るワーキングの実施や最新の情報共有等、リボーンチャレンジの支援に努めた。

また、令和 6 年 3 月 25 日に「展示・出展ゾーン」への出展企業 377 社を公表した。

３　国際ビジネス支援事業

産業局内に設置の「国際ビジネスサポートセンター」を中核にして、府内中小企業の海外進出や海外取引等の国際ビジネスを支援した。

【国際ビジネス支援件数：2,677 件】

⑴　国際ビジネスサポートセンターの運営

国際ビジネスサポートセンターにおいて、府内中小企業の海外ビジネスに関するアドバイスやパートナー企業の紹介、海外ビジネス情報の提供、オンライン商談会での支援等を行った。

【企業支援件数：839 件】

⑵　ビジネスサポートデスクによる各種ビジネス支援

アジア 5 地域（インド、インドネシア、タイ、ベトナム、ミャンマー）に海外拠点を設置、現地企業に委託し、国際ビジネス相談（レポート提出）、取引候補先企業リストアップ、現地出張支援等を実施した。また、各デスクでは海外ビジネス Web セミナーを開催し現地の最新ビジネス情報を提供するとともに、オンライン商談会及び相談会を実施するなど、府内中小企業への海外ビジネス支援を行った。

※インドネシアデスクは令和 5 年度新設

【利用件数：60 件／商談件数：180 件】

⑶　有望市場販路開拓促進事業

市場開拓・事業展開等の目的に合わせ効果的な「派遣国／ターゲット業種」の商談会等の開催を通じて、大阪企業の市場開拓につなげた。

○　「インドネシア・ジャカルタ展示商談会 2023」

【参加企業数：8 社／商談件数：343 件】

⑷　海外展示会出展

府内中小企業の海外販路開拓支援のため、タイ、ベトナムで開催される海外展示会への出展を行った。

○　「タイ・バンコク展示商談会 2023」
【参加企業数：4 社／商談件数：350 件】

○　「ベトナム・ホーチミン展示商談会 2023」
【参加企業数：10 社／商談件数：552 件】

⑸　海外拠点の運営（上海事務所の運営）

上海事務所において、中国の経済事情や投資環境の調査を行うとともに、府内中小企業や関係団体の中国ビジネスを支援した。

○　中国の経済事情等に関するビジネスセミナー開催
【開催数：6 回／受講者数：264 名】

○　中国国内の展示・商談会出展
【出展回数：11 回／商談件数：351 件】

４　新産業推進事業

⑴　先端技術活用ビジネス創出支援事業

先端技術を活用したビジネスの支援拠点として、ビジネス開発から育成、実証まで、一気通貫による総合的なサポートを実施した。

また、5G の技術・ビジネスサポート拠点「5G X LAB OSAKA」や 3D プリンタやレイザーカッターを完備したデジタルファブリケーション工房「Makers Lab」を拠点に、テック・ビジネス・コミュニティの形成にも取り組んだ。

【新たなプロジェクト創出・推進支援件数：24 件】

①　IoT・RT 関連ビジネス創出支援事業

テクノロジーを活用したビジネスでの新規事業を創出し、創業者を輩出していくため、専門コーディネーターによる事業創出支援プログラムとして web3 をテーマとした「テック・ビジネス・アクセラレータ SUITCH」と生成 AI をテーマとした「TEQS Generative AI QUEST」を実施した。

【プロジェクト候補件数：15 件】

②　IoT・RT ビジネス実証実験支援プログラム事業

IoT・RT を活用し新たな需要を生み出す付加価値の高いビジネスを創出するため、企業等に対し実証実験フィールドを提供するとともに実証実験実施に関する支援を行った。

○　IoT・ロボットビジネス実証実験プログラム

アジア太平洋トレードセンター（ATC）及び舞洲エリアのスポーツ施設を先端技術ビジネスの社会実装に向けた実証実験フィールドとして、実証実験を行う企業等を募集し、効果的な実証実験となるようコーディネートを行った。

【実証実験実施件数：13 件】

○　プロモーション業務

全国から実証実験実施企業を誘致するため、本事業のプロモーションとして、ウェブサイト等を活用した情報発信や、展示会およびセミナーを実施した。

③　5G X LAB OSAKA

ソフト産業プラザ TEQS 内に、大阪市、ソフトバンク株式会社、（一社）i-RooBO Network Forum との官民連携により開設した 5G の技術・ビジネスサポート拠点「5G X LAB OSAKA」（展示体験ルームと検証ラボで構成）において、5G 製品の体験を通じたビジネスアイデアの探索、5G 電波を使った開発・検証などの支援を実施した。

【来場者数：1,486 名／展示数：35 製品】

④　5G 関連ビジネス創出事業

5G 活用ビジネスの啓発・普及、事業化をめざすプロジェクトの創出、市場化をシームレスに支援することを目的に、新製品開発の資金を補助する「5G ビジネス開発補助金」をはじめ、「5G 導入トライアル補助金」、ビジネスアイデアコンテストや大企業とのビジネスマッチングプログラムなど、5G 関連ビジネス創出に向けた各種プログラムを実施した。

【開発補助金採択件数：5 件／導入補助金採択件数：6 件】

⑤　関西テッククリエイティブ人材共創事業（AKATSUKI プロジェクト）

地域からイノベーション創出を牽引しうる人材を次々と輩出していくため、若手 IT 人材のコミュニティをプラットフォームとして形成するとともに、大阪公立大学や奈良先端科学技術大学院大学等と連携を図り、知識・経験の豊富なプロジェクトマネージャーによるハンズオンメンタリングや各種講座などの各種人材育成プログラムを展開した。

【育成人材選抜：10 名／プロジェクトマネージャーメンタリングの実施：10 件】

⑵　ロボットテクノロジー産業振興事業

①　地域 DX 促進活動支援事業

地域企業の DX 推進を支援し、生産性向上につなげることを目的に、ロボットを活用したものづくり自動化支援を行った。

【ハンズオン実施件数：3 社】

⑶　クリエイティブ産業創出・育成支援事業

デザインや広告、映像等のクリエイティブ関連産業の振興を目的とした施設「メビック」を運営し、大阪で活動するクリエイティブ関連産業の情報をウェブサイトや冊子を活用して広く紹介するとともに、クリエイター同士、あるいはクリエイターと企業等とのネットワークづくり、人材育成に向けた環境整備に取り組んだ。

①　情報発信・プロモーション業務

「クリエイティブクラスターサイト」でのクリエイティブ事業者の発信の他、プロモーションイベントの開催や、大阪のクリエイティブ産業集積についてのプロモーション強化を行った。

【クリエイティブクラスター掲載件数：254 件】

② ネットワーク構築業務

クリエイター同士、クリエイターと企業等とのネットワークを構築していくため、様々なコミュニケーションイベントを開催した。

【クリエイティブクラスターミーティング　開催回数：8 回／参加者数：121 人】

【相談対応件数：238 件】

③ マッチング業務

クリエイターや異業種企業等による新事業創出や販路開拓、既存事業の高度化・高付加価値化、自社ブランディング、広告宣伝機能強化など、新たな価値を生み出しビジネスにつなげるため、クリエイターと企業等の協働促進に向けた各種マッチングイベントや展示・商談会を開催した。

【マッチングイベント　開催数：30 回／登壇･出展者数：342 組】

【連携・協働が成立した事例：443 件／連携・協働に向け協議検討中の事例：69 件】

Ⅲインキュベーション等管理運営

1　インキュベーション等管理運営事業

(1)　ソフト産業プラザ事業

「技術で課題解決する人」を対象とした、先端技術を活用したビジネスの支援拠点として、大阪産業創造館と連携して相談指導及び情報提供等をしながらインキュベーションオフィスを備えたソフト産業プラザの管理運営を行うとともに、5G 関連ビジネス創出事業及び IoT・ロボットビジネス実証実験支援事業の実施を通じたプロジェクト創出支援、南港 ATC を中心とした先端技術集積拠点化向けた関連する機関・団体との連携事業を実施した。

【施設概要】

施設名称：ソフト産業プラザ　TEQS【テックス】
所 在 地：大阪市住之江区南港北 2 丁目 10 番 10 号 ATC ビル ITM 棟 6 階
貸　　室：19 室
入居社数：14 社 19 室（令和 6 年 3 月末現在）
設置施設：制作スタジオ、研修ルーム、展示サロン、ライブラリー、プレゼンテーションルーム、コワーキングスペース、ビジネスカフェ、応接室、Makers ラボ他

⑵　大阪デザイン振興プラザ運営事業

アジア太平洋トレードセンター（ATC）の委託を受け、クリエイターに特化したビジネスインキュベーション施設として、独立・創業期のクリエイターを対象に支援業務を行った。入所企業以外にも自己発信の場を求めるクリエイター向けの展示会、ワークショップイベント、知識習得の場を求めるクリエイターにセミナーなどの機会を提供し、これからのクリエイターの事業発展のための支援を行った。

【施設概要】

施設名称：大阪デザイン振興プラザ
所 在 地：大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ビル ITM 棟 10 階
設置施設：インキュベーションオフィス、デザイナーズオフィス、コワーキングスペース、デザインギャラリー、多目的ルーム、デザインライブラリー　他
貸 室 数：インキュベーションオフィス　27 室、デザイナーズオフィス　42 室
入所室数：インキュベーションオフィス　17 社 17 室（令和 6 年 3 月末現在）
　　デザイナーズオフィス　26 社 32 室（令和 6 年 3 月末現在）

①　オフィス運営業務

オフィス入所対象となるクリエイター向けの営業力及び知識セミナーや、「プロデュース」をテーマにしたセミナーを開催し、中堅クリエイター以上への認知促進を図った。また、交流イベントについては少人数制イベントに注力したことで、様々なジャンル、キャリアのクリエイターが来場し、オフィス入所にも繋がった。また「入所企業成果報告会」を開催し、入所企業の活動についての PR も継続して行った。

② 大阪デザイン振興プラザ管理運営業務

○ レンタルスペースの運営

ODP 内外のクリエイターに自己発信やビジネスの拡大を目的として、レンタルスペースの貸し出しを行った。

【外部団体による利用　共催イベント開催数：34 回／来場者数：24,083 名】

⑶ 賃貸工場管理運営事業

幅広く「ものづくり」を支える基盤的技術産業に良好な操業環境を提供する賃貸工場「テクノシーズ泉尾」（大正区）の管理運営を行った。

【施設概要】

施設名称：テクノシーズ泉尾
所 在 地：大阪市大正区泉尾 6 丁目 2 番 29 号
建物構造：鉄骨造　4 階建
延床面積：2,750 ㎡
貸　　室：30 室
入居社数：18 社 28 室（令和 6 年 3 月末現在）

公益目的事業２

設備貸与事業

中小企業基盤整備機構法に基づき、資金調達力の弱い創業者及び小規模企業者の経営革新に必要な設備を産業局が購入し、長期かつ低利で割賦販売又はリースを行った。

設備貸与制度の認知度向上、新規利用者の獲得に向け、新たに事業紹介動画を作成し、ウェブサイト上に公開するなど、広報活動強化を行った

○　割賦販売又はリース総額【貸与件数：144 件／貸与金額：2,000,000 千円】

収益事業１

「マイドームおおさか」の運営・管理に関する事業

１　展示場等施設運営事業

(1)　展示会、会議等催事の積極的誘致

①　展示場催事の誘致

新製品・新技術の発表、ビジネスマッチング・情報交流等の場を提供することにより中小企業等の振興を図る施設として、「マイドームおおさか」の展示場（4,927 ㎡）を運営した。

【展示場利用件数：304 件／稼働率：58.2%】

②　会議室催事の誘致

セミナー、研修、会社説明会、株主総会、資格試験などの場を提供することにより中小企業等の振興を図る施設として、「マイドームおおさか」の会議室（8 室・689 ㎡）を運営した。

【会議室利用件数：629 件／稼働率：31.3%】

収益事業２

「大阪産業創造館」の運営・管理に関する事業

１　大阪産業創造館管理運営事業

中小企業、ベンチャー企業の振興拠点である大阪産業創造館の施設を有効に活用した創業・新事業創出、経営革新、新産業創造等の中小企業の支援事業を積極的に展開するとともに、指定管理者として施設の効率的な管理運営に努めた。令和5年度は、貸室稼働率は60.6%（前年度実績：56.4%）、大阪産業創造館利用者は約 21 万 2,000 人となった。

統括室

理事会の定期的な開催や、財団内意識の共有化を図るため、経営会議等の開催に努めた。

また、イノベーション推進部をスタートアップ支援事業部へ、IoT・RT ビジネス推進部をクロステック推進部へ再編した。

事業ごとの予算・実績の管理を行い収支管理の精度向上に取り組んだほか、電子帳簿保存法への対応などを行った。さらに、他機関との連携を進めるため共同体の組成や包括連携の締結、各種会議体への参画などを積極的に事業推進に取り組んだ。

１　評議員会の開催

次のとおり 4 回開催し、原案どおり承認された。

⑴　令和５年度　第１回評議員会（決議の省略）

①　日　時：令和5年4月1日（土）

②　議　案：第1号議案　評議員の選任について

⑵　令和５年度　第２回評議員会

①　日　時：令和5年6月28日（水）

②　議　案：第1号議案　令和4年度収支決算について
第2号議案　役員等の選任について
報告事項1　令和4年度事業報告について
報告事項2　令和5年度事業計画および収支予算について

⑶　令和５年度　第３回評議員会（決議の省略）

①　日　時：令和5年8月1日（火）

②　議　案：第1号議案　評議員の選任について

⑷　令和５年度　第４回評議員会（決議の省略）

①　日　時：令和5年12月6日（水）

②　議　案：第1号議案　理事の選任について

２　理事会の開催

次のとおり 7 回開催し、原案どおり承認された。

⑴　令和５年度　第１回理事会

①　日　時：令和5年4月14日（金）

②　議　案：第1号議案　令和5年度事業計画の変更及び収支補正予算について
第2号議案　令和4年度利益相反取引の承認について①
第3号議案　令和4年度利益相反取引の承認について②

⑵　令和５年度　第２回理事会

①　日　時：令和5年6月9日（金）

②　議　案：第1号議案　令和4年度事業報告及び収支決算について
第2号議案　令和5年度事業計画の変更及び収支補正予算について

第３号議案　令和５年度競業承認について
第４号議案　令和５年度会計監査人の報酬額について
第５号議案　評議員会の招集について
報告事項１　令和４年度競業取引の報告について

⑶　令和５年度　第３回理事会（決議の省略）

①　日　時：令和５年６月28日（水）
②　議　案：第１号議案　理事長及び専務理事（代表理事）の選定について
第２号議案　常務理事の選定について
第３号議案　常勤役員の報酬額について

⑷　令和５年度　第４回理事会

①　日　時：令和５年７月26日（木）
②　議　案：第１号議案　規程の改正について
第２号議案　役員賠償責任保険について
第３号議案　関西イノベーションネットワーク２号投資事業有限責任組合への投資について
第４号議案　評議員会の招集について
報告事項１　役員の職務分担に関する規則改正について
報告事項２　スタートアップ支援の状況について

⑸　令和５年度　第５回理事会

①　日　時：令和５年10月12日（木）
②　議　案：第１号議案　規程の改正について
第２号議案　令和５年度事業計画の変更及び収支補正予算について
報告事項１　令和５年度大阪府・大阪市交付金有識者会議について
報告事項２　令和５年度経営目標等について

⑹　令和４年度　第６回理事会

①　日　時：令和５年11月10日（金）
②　議　案：第１号議案　令和５年度事業計画の変更及び収支補正予算について
報告事項１　令和５年度上半期職務執行状況報告について

⑺　令和５年度　第７回理事会

①　日　時：令和６年３月26日（木）
②　議　案：第１号議案　令和６年度事業計画及び収支予算等について
第２号議案　規程の改正について
報告事項１　令和５年度事業進捗状況の報告について
報告事項２　令和６年度経営目標について
報告事項３　公益法人立入検査等の結果について

３　役員等の異動

次のとおり役員等の異動があった。

⑴　令和５年 ４月１日付

就任　　評議員　井内　摂男

就任　　評議員　馬場　広由己

⑵　令和５年 ６月25日付

退任　　理　事　齋藤　進

⑶　令和５年 ６月25日付

就任　　理　事　太田　雄士

⑷　令和５年 ７月31日付

退任　　評議員　津組　修

⑸　令和５年 ８月１日付

就任　　評議員　新井　純

⑹　令和５年 ８月15日付

退任　　理　事　生駒　京子

⑺　令和５年12月６日付

就任　　理　事　フォーリー淳子

４　その他

規程等の整備、包括連携協定締結、各種会議体への参画の主な内容は、以下のとおり。

○　規程等の整備

・事務局組織規程、給与規程、展示場等使用規程（令和５年４月１日）
　組織名の変更、法改正、駐車場利用料金の改定

・旅費規程（令和５年８月１日付）
　宿泊料の見直し

・展示場等使用規程（令和６年４月１日付）
　マイドームおおさか予約管理システム変更に伴う様式名等の修正

○　その他、職員研修・委員会活動、システム化推進等を実施

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。